

■8. 講演「スマートシティ 柏の未来～公民学連携による低炭素まちづくり」

原田 圭介 氏（柏市 環境部 環境保全課 環境政策担当 主任）

（1）柏市の紹介

柏市は人口 40 万 5000 人、面積は約 115 平方キロメートルの中核市になります。東京都心、筑波研究学園都市、成田空港から 30km 圏内に位置し、非常に便利な立地条件です。

（2）柏市地球温暖化対策計画

柏市の環境政策では、2030 年度までに 2000 年比 25%の温室効果ガス削減を目指しています。2008 年の温室効果ガス排出状況は、基準年と比較すると民生部門で増加、産業部門で減少しました。

柏市で行っている対策は、市民団体との協働によるストップ温暖化サポーター事業や市の施設における取り組み「エコアクションプラン」がありますが、本日は、地域全体で行う「省 CO2 まちづくり行動計画」、特に柏の葉キャンパス地区についてご紹介します。

（3）柏の葉スマートシティ・プロジェクト

柏の葉では、「柏の葉スマートシティプロジェクト」という環境配慮都市の建設が進められています。基幹技術は AEMS（エリア・エネルギー・マネジメント・システム）です。AEMS とはいわゆるスマートグリッドで、系統電力から独立し、太陽光や風力による電力を地域内で適正配分するシステムです。これにより、省エネルギーだけでなく災害に強いまちづくりが実現します。この AEMS を軸に様々なプロジェクトを構想しています。

例えば、各家庭にスマートメータを設置して電気使用量や排出 CO2 を表示させます。そして昨年からの削減量に応じたインセンティブをエコマネーとして発行する準備も始めています。

教育現場では、最新の高効率機器が導入されたエコスクールの開校を予定しており、同規模の教育施設と比較しても 47%の CO2 削減ができる見込みです。

食の分野では、「アグリテイメント構想」と題して、健康と環境を両立した生活の実現や農園レストランの運営など、都市と農村の融合を楽しむライフスタイルを追求します。

そして、ITS（次世代モビリティ・システム）を活用した高度道路交通システムの試験運用も計画しています。

これら取り組みによって、柏の葉キャンパス地区では東京都水準に比べ 50%の温室効果ガス削減を実現する理想都市が誕生する予定です。

（4）柏ブランド（未来都市モデル）の構築

低炭素まちづくりは、自治体単独で実現するものではありません。市、市民、事業者、大学といった役者がそろって初めて実現できる計画都市です。柏市では新しいまちづくりのモデルとなり、グローバルスケールの低炭素社会実現に向けて、先駆的事例になりたいと思います。

以上